

経済学

久保田知恵

2018 年 5 月 8 日

1 貨幣価値

1.1 円高・円安ってなんだ？

「円高・円安」などと騒がれてきたのは 1970 年ごろから。1971 年までは固定性だった（1 ドル 360 円）1971 年からは貨幣変動制となった。ドルなど他国の貨幣との対比で円高円安について語られることが多いため、円高・円安とは外貨が絡むものだという先入観が植えつけられている。

問題の回答 問題：日本国内の物価が上昇すると、円の価値が下落する。円安というのは、円の価値が下落するということである。故に、日本国内の物価が上昇すると円安になる。以上の推論は正しいか。

それぞれの文は正しい。一般に、日本国内の物価が上昇すると、円安圧力となる。

円の価値：日本国内でものを買うために必要な貨幣の量が必要になる円の値段：商品に対する円の購買力・国内市場における円の商品購買力

円の値段：外貨に対する円の値段・外国為替市場における

これを踏まえると、

日本国内の物価が上昇すると、円の商品購買力が下落する。円安というのは、他の通貨の購買力が下落するということである。

？外貨と他通貨って何が違うのか

例えば、日本で主に取引される仮想通貨は他通貨と言えるのか。「通貨が売り買いされる「マーケット」は外国為替市場だけ」

2 需要法則

例題：ペン 1 本が日本の市場では 1 ドルで販売されていた。為替相場は 1 ドル = 50 円であった。

1. このとき、為替相場にはドル高・ドル安どちらの圧力が作用するか。誰のどのような取引行為によってそのような圧力が作用するのか。というそのプロセスも示しなさい。
2. この相場変動圧力は「1 ドル = 〇円」になれば消滅するのか。

回答：

1. 日本の需要者による対米輸入増大（ドル建て）がおり、これにより、円売りドル買いが増大する。その結果、円安ドル高の圧力がかかる。
2. 1 ドル = 100 円になれば、日本で購入しても米国から購入しても 1 本のペンの値段が無差別になるため。
 - 実需の動きに基づく通過売買の増減（＝レート変動圧力）を発生させない為替相場基準
実需とは、この場合「ペンを使うため」ということになる。実需の反対の言葉としては、投機的需要という言葉が当てられる。
 - 各国内に置ける通過の商品購買力を反映した為替レート。
 - レート変動の重心：ここからレートがずれるとここに引き戻す圧力が発生する。

同じドル買いという行為に対して、買ったドルでペンを買うのか、為替により儲けたいから買うのかという違いが出てくる。後者は、値上がり益を求めての需要と言える。

参考テキスト:59 ページ為替のうち、1% は実需、その他 99% が投機的実需によるものである。

グラフの見方

長期的に見ると、赤い線を中心として実際の円相場は上下している。

2.1 確認問題

日本の景気がいいと、海外から日本に投資資金が流入する。その逆も然り。しかし、日本国内の資金が増減することはない。

投資家 A は日本の景気がよくないため、資金を日本からアメリカに移す。その時 A は円売りドル買を行う。

具体例：

1. A による円売りドル買 1 ドル = 100 円の時、100 万円売り、1 万ドルを買う。
2. C 銀行（日本支店では円預金、米国支店ではドル預金を扱う）
3. 日本：A の口座から C 銀行の預金へ 100 万円振り込まれる
4. 米国：C 銀行の預金から、A の口座へ 1 万ドル振り込まれる

A の口座から C 銀行に振り込まれたただけなので、日本国内でのお金の量は変わっていない。米国国内のお金に関しても同様。

3 円売ドル買の具体例

■貨幣価値という言葉の意味

- 外国為替市場
貨幣の価格
- 国内の財市場
- 貨幣市場
- その他
希少性（希少価値）
itemize

■問題 1-3 貨幣価値が下落すると物価が上昇するのか、それとも物価が上昇すると貨幣価値が下落するのか。

回答 1-3 日本政府が国民にお金を配布すると、国民の手元のお金が増える。すると、お金の価値（希少性）が下がり、気軽にお金を使えるようになる。需要が増大するため、物価は上昇する。お金の価値（商品購買力）は下がる。

4

5

6

7

8

9